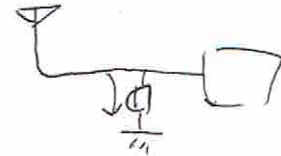


A - 8 次の記述は、短波帯の一般的な同軸避雷器に用いられる、サージ防護デバイスについて述べたものである。□内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。なお、同じ記号の□内には、同じ字句が入るものとする。

- (1) サージ防護デバイスとして、金属酸化物バリスタ、ガス入り放電管などが用いられる。このうち□Aは電極間の静電容量が小さく、小形でも比較的大きな電流が流せるので、アンテナ系と送信機の間接続する同軸避雷器のサージ防護デバイスに適している。
- (2) □Aは、高電圧により電極間の□Bが変化し雷などによるサージ電流をバイパスさせるものであり、特に□Cに対して有効である。

- | A | B | C |
|-------------|--------------|-----|
| 1 金属酸化物バリスタ | 抵抗値(インピーダンス) | 直撃雷 |
| 2 金属酸化物バリスタ | 距離 | 誘導雷 |
| 3 ガス入り放電管 | 距離 | 直撃雷 |
| 4 ガス入り放電管 | 抵抗値(インピーダンス) | 誘導雷 |



金属酸化物バリスタ
ガス入り放電管

電圧降下関係 静電容量大
高周波 30Hz 60Hz
= 小